

GoogleのJavaスタイルのCheckstyleカバレッジ

有用な情報

このカバレッジレポートは、2018年5月23日のバージョンである [Google Java Style](#) （[キャッシュされたページ](#)）用に作成され、2019年5月7日現在のものです。

[Guavaライブラリに関するCheckstyleのhtmlレポート](#)

[「GoogleJavaStyle」のCheckstyle構成](#)

伝説

"-"この段落には規則はありません。

「↓」-この段落は、あるグループのハイレベルなポイントです。-既存のチェックは、Googleのすべての要件をカバーしています。-既存のチェックは、Googleの要件の一部をカバーしています。-Checkstyleで要件を確認することはできません。



カバレッジテーブル

注意：最新の（まだリリースされていない）構成への次の表の参照にある構成とテストへのリンク。構成は、最新リリースのものとは少し異なる場合があります。常にjarに埋め込まれているconfigを使用するか、checkstyleバージョンと一致するものからコピーされたカスタムバージョンを使用してください。

Googleの Javaスタイル ルール	Checkstyleチェック	構成に 適用
1はじめに	-	
1.1用語の注記	-	
1.2ガイドノート	-	
2ソースファイルの基本	↓	
2.1ファイル名	OuterTypeFilename	設定 テスト

GoogleのJavaスタイル		Checkstyleチェック	
2.2ファイルエンコーディング：UTF-8		説明	トに適用
2.3.1空白文字	FileTabCharacter		設定テスト
2.3.2特別なエスケープシーケンス	IllegalTokenText		設定テスト
2.3.3非ASCII文字	PreventEscapedUnicodeCharacters		設定テスト
3ソースファイルの構造	EmptyLineSeparator		設定テスト
3.1ライセンスまたは著作権情報（存在する場合）	-		
3.2パッケージステートメント	LineLength NoLineWrap		config test config test
3.3インポートステートメント	↓		
3.3.1ワイルドカードのインポートなし	PreventStarImport		設定テスト
3.3.2行の折り返しなし	LineLength NoLineWrap		config test config test

GoogleのJavaスタイル

3.3.3 順序と間隔

Checkstyleチェック

CustomImportOrder

設定
テスト

3.3.4 クラスの静的インポートなし

その検証はCheckstyleでチェックできませんでした。別のクラス（Java ファイル）からの情報が必要です。ただし、Checkstyleには、別のJava ファイルを開いたり調べたりする方法がありません。

3.4 クラス宣言

↓

3.4.1 正確に1つのトップレベルクラス宣言

OneTopLevelClass

設定
テスト

3.4.2 クラスメンバーの注文

-

3.4.2.1 過負荷：分割しない

OverloadMethodsDeclarationOrder

設定
テスト

4 フォーマット

-

4.1 中括弧

↓

4.1.1 中括弧はオプションの場合に使用されます

NeedBraces

設定
テスト

4.1.2 空でないブロック：K&Rスタイル

LeftCurly RightCurly

config
test
config
test

4.1.3 空のブロック：簡潔な場合があります

EmptyBlock EmptyCatchBlock

config
test
config
test

4.2 ブロックインデント：+2スペース

インデント

「ラムダの本体が単一のブレースなしの式で構成されている場合、矢印の直後にブレークが発生する可能性があることを除いて、ラムダの矢印に隣接し

設定
テスト

Googleの Javaスタイル ルール

て線が切断されることはありません」というルールは、問題 #4006 で対処されます。

トに
適用
設定
テスト
設定
テスト

4.3 1行に1つの
ステートメント

OneStatementPerLine

4.4 列制限：
100

LineLength

http://、https://などのプロトコルタイプのURLを検出できます。
JSNI は現在検出できませんが、コメントとjavadocサポートが
Checkstyleに表示された後に検出できる可能性があります。

4.5 行の折り返し

-

4.5.1 どこで壊
すか

OperatorWrap SeparatorWrap MethodParamPad

config
test
config
test
config
test

4.5.2 継続行を
少なくとも+4
スペースインデ
ントする

インデント

設定
テスト

4.6 空白

↓

4.6.1 垂直方向
の空白

EmptyLineSeparator2

つの連続するフィールド間の空白行はオプションです。この例外は満たされていません

設定
テスト

4.6.2 水平方向
の空白

WhitespaceAround GenericWhitespace MethodParamPad
ParenPad WhitespaceAfter NoWhitespaceBefore
NoWhitespaceBeforeCaseDefaultColon 型注釈と「[]」または「...」の

間には空白が必要。実際には「NoWhitespaceBefore」構成は省略可

config
test
config
test

Googleの Javaスタイル ルール

間はおたアエツフごせり、天際には「nowhitespacebefore」偶成は冒略記号の反対をチェツクします。これは、問題 #6707 で対処されます。

test
config
test
config
test
config
test
config
test



4.6.3 水平方向
の配置：不要

-

4.7 括弧のグル
ープ化：推奨

-

4.8 特定の構成

↓

4.8.1 列挙型ク
ラス

-

4.8.2 変数宣言

↓

4.8.2.1 宣言ご
とに1つの変数



MultipleVariableDeclarations

設
定
テス
ト

4.8.2.2 必要に
応じて宣言



VariableDeclarationUsageDistance

設
定
テス
ト

4.8.3 配列

↓

4.8.3.1 配列初
期化子：「ブロ
ックのような」
ものにすること
ができます

-

4.8.3.2 Cスタ
イルの配列宣言
なし



ArrayTypeStyle

設
定
テス
ト

Googleの Javaスタイル 4.8.4 Switchステートメント	Checkstyleチェック -	トに適用
4.8.4.1 インデント	✔ インデント	設定
4.8.4.2 フォールスルー ルルール：コメント	✔ フォールスルー	設定 テスト
4.8.4.3 デフォルトのケースが存在します	✔ MissingSwitchDefault 「例外：列挙型はデフォルトのステートメントグループを省略できます」タイプを区別できないため、要件をカバーできません。列挙値は静的な最終文字列定数と同じように見える場合があります。	設定 テスト
4.8.5 注釈	✔ AnnotationLocation	設定 テスト
4.8.6 コメント	↓	
4.8.6.1 ブロックコメントスタイル	✔ コメントインデント	設定 テスト
4.8.7 修飾子	✔ ModifierOrder	設定 テスト
4.8.8 数値リテラル	✔ UpperEll	設定 テスト
5 ネーミング	↓	
5.1 すべての識別子に共通のルール	「5.2 識別子タイプのルール」にはすでにこのルールが含まれています。	

 5.2 識別子タイプ別のルール	Checkstyleチェック	構成に適用
 5.2.1 パッケージ名	 パッケージ名	設定 テスト
 5.2.2 クラス名	 TypeName	設定 テスト
 5.2.3 メソッド名	 MethodName 名前の先頭にある動詞を区別する機能がなく、Testメソッドを他のメソッドと区別する方法がないため、名前に「_」を使用できます	設定 テスト
 5.2.4 定数名	 すべての定数は静的な最終フィールドですが、すべての静的な最終フィールドが定数であるとは限りません。このようなルールを確認することは不可能です。	
 5.2.5 非定数フィールド名	 メンバー名	設定 テスト
 5.2.6 パラメータ名	 ParameterName CatchParameterName LambdaParameterName RecordComponentName     LocalVariableName PatternVariableName	config test config test config test config test config test config test
 5.2.7 ローカル変数名		
 5.2.8 型変数名	 MethodTypeParameterName ClassTypeParameterName InterfaceTypeParameterName RecordTypeParameterName  	config test config test

Googleの Javaスタイル ルール

Checkstyleチェック

5.3 キャメルケース：定義済み

AbbreviationAsWordInName

対象外：一部の単語は英語であいまいにハイフンでつながれています。「YouTubeImporter」と「YoutubeImporter」を区別する方法はありません。

6 プログラミングの実践

6.1 @Override：常に使用

その検証はCheckstyleでチェックできませんでした。親クラスとして見る必要があります。ただし、Checkstyleには、別のクラスファイルを開いたり表示したりする方法がありません。

6.2 キャッチされた例外：無視されない

option = textの EmptyBlock。

6.3 静的メンバー：クラスを使用して修飾

適切な検証には他のファイルの解析が必要です。ソースが常に利用できるとは限りません。

6.4 ファイナライザー：未使用

NoFinalizer

7 Javadoc

7.1 フォーマット

7.1.1 一般的な形式

SingleLineJavadoc 要件を明確にするガイドの最近の更新は、 #4052InvalidJavadocPositionで対処されます。

7.1.2 段落

JavadocParagraph RequireEmptyLineBeforeBlockTagGroup

7.1.3 ブロックタグ

AtclauseOrder JavadocTagContinuationIndentation NonEmptyAtclauseDescription

test
config
test
config
test

設定
テスト

















設定
テスト

設定
テスト

config
test
config
test

config
test
config
test

config
test
config
test

 Googleの Javaスタイル ルール  7.2要約フラグ メント	 Checkstyleチェック   概要Javadoc	test config test
 7.3Javadocが 使用される場所	 MissingJavadocType MissingJavadocMethod JavadocMethod  	設定 テス ト
 7.3.1例外：自 明の方法	 MissingJavadocMethod JavadocMethod 	config test config test
 7.3.2例外：オ ーバーライド	 MissingJavadocMethod JavadocMethod オーバーライドは、メソッドに「@Override」アノテーションが存在することによってチェックされます。 	config test config test
 7.3.4不要な Javadoc	 InvalidJavadocPosition	設定 テス ト

抑制

フィルタ [SuppressionFilter](#) および [SuppressionXpathFilter](#)を埋め込むことにより、一部の違反を抑制することができます。[SuppressionFilter](#)の構成ファイルの場所は、システムプロパティ `org.checkstyle.google.suppressionfilter.config`（デフォルト値は `checkstyle-suppressions.xml`）で定義できます。[SuppressionXpathFilter](#)の構成ファイルの場所は、システムプロパティ `org.checkstyle.google.suppressionxpathfilter.config`（デフォルト値は `checkstyle-xpath-suppressions.xml`）で定義できます。

詳細については、`google_checks.xml`のフィルターの正確な構成を確認してください：
[SuppressionFilter](#) 、 [SuppressionXpathFilter](#) 。